

幼児の歌唱能力の分析

— 幼稚園年少児の独唱における音程の検討 —

○長澤佳子 ・ 植田恵理子

(大阪音楽大学付属音楽学園)

幼児の歌唱能力の実際を知る為に、幼稚園年少児の独唱を音程を中心に分析し、その結果から、保育者が教育的に配慮できる事は何かを考察した。

1. 調査対象と方法

a 対象

大阪市内の私立T園 年少児32名

b テーター収録の時期

1987年3月 1988年3月 1989年3月

c 方法

年少児が、3学期末の生活発表会の際、舞台上で担任教師のピアノ伴奏に合わせて独唱した歌をビデオテープに収録し、現在、音楽教育に携わっている教師2名が、視聴、採譜し、分析した。選曲は子供自身が行っており、練習期間は約3ヶ月間である。

d 視聴、採譜の方法

ビデオテープから独唱部分を採譜し、ピアノで音を確認しながら、伴奏の旋律との音程差を調べた。

e 使用機器

ビデオカメラ : SONY DX-C 3000

ビデオデッキ : PANASONIC VHS

AG7400

収録用マイクロフォン : SONY ECM23F

表1: 曲の概要と歌唱についての分析結果

年/番号	性別	曲名 (歌詞の冒頭)	調	小節数	音域	声域(推定)	声域幅	冒頭	傾向	終止	音程差	特徴	
1987/1	女	とんぼのおめめ	C	8	1点ハ〜2点ニ	1点ニ〜2点ハ	7度	B3		2度	*		
2	男	ゆうやけおそら	C	12	1点ハ〜2点ハ	1点ハ〜1点ト	5度	B2	a	4度	*		
3	女	とんとん友達	F	22	1点ハ〜2点ニ	1点ハ〜1点変口	4度	B2		4度	!		
4	男	もしもしお電話	F	8	1点ハ〜2点ハ	1点ハ〜2点ハ	5度	a	B3	4度	!		
5	女	蝶々がひらひら	C	16	1点ハ〜2点ニ	1点ハ〜2点ハ	8度	a	A	a	2度	!	
6	男	そうだったらいいのにな	C	12	1点ハ〜2点ハ	1点ハ〜2点ハ	8度	a	A	a	0度	/	
7	女	かわいいかくれんぼ	F	18	1点ハ〜2点ハ	1点ハ〜1点イ	6度	a	B3	5度	!		
8	男	パジャマは最初	C	12	1点ハ〜2点ハ	1点ニ〜1点ト	4度		B3	4度	!		
9	女	もう春ですよ	B	16	1点ニ〜2点ニ	1点ハ〜1点変口	4度		C	3度	!		
10	男	くまさんの書いた	F	16	1点ハ〜2点ニ	1点ハ〜1点イ	6度	a	B3	4度	!		
11	女	ありさんのお話	F	16	1点ハ〜2点ニ	1点ハ〜1点変口	4度		B3	4度	!		
12	男	気のいいあひる	F	16	1点ホ〜2点ニ	1点ニ〜1点変口	6度	a	B3	a	3度	!	
13	女	ひなまつり	c	16	1点ハ〜2点ニ	1点ハ〜2点ニ	9度	a	A	a	0度	/	
1988/1	男	こぶたのラッパ	C	12	1点ハ〜2点ハ	1点ト〜2点ハ	4度		B3	5度	!	!	
2	男	てんとう虫の赤い服	C	16	1点ニ〜2点ハ	1点ニ〜1点イ	5度		B3	3度	/	!	
3	男	おすもうくまさん	B	16	1点ハ〜2点ニ	1点ハ〜2点ニ	6度	B1	a	4度	!		
4	男	まつぼっくり	F	8	1点ハ〜2点ハ	1点ハ〜2点ハ	5度	B1	a	4度	*	!	
5	男	はつかねずみが	D	14	1点ニ〜2点ニ	1点ホ〜1点口	5度		B2	3度	!		
6	男	水鉄砲	F	10	1点ハ〜2点ニ	1点ハ〜1点イ	6度	a	B3	4度	!		
7	男	僕はドラ猫	C	12	1点ハ〜2点ニ	1点ト〜1点イ	2度		B3	5度	!		
8	男	おしゃなあひる	F	16	1点ニ〜2点ハ	1点ニ〜2点ハ	7度		B1	a	4度	!	
9	男	おもちゃのマーチ	F	8	1点ハ〜2点ニ	1点ハ〜1点変口	7度	a	B3	3度	!		
10	女	だれかさんにこんにちは	C	12	1点ハ〜2点ハ	1点ホ〜1点変イ	4度		B2	3度	!	!	
11	女	どろんこ	C	12	1点ハ〜2点ハ	1点ハ〜1点ハ	4度		B3	a	5度	!	
12	男	今日の日照	F	10	1点ハ〜2点ハ	1点ハ〜1点イ	3度		B3	4度	/		
1989/1	男	チューリップ	C	12	1点ハ〜1点イ	1点ハ〜1点ホ	3度	a	B3	a	4度	!	!
2	男	こいのぼり	C	16	1点ハ〜2点ハ	1点ニ〜1点ト	4度		B5	4度	!		
3	男	かえるのうた	C	8	1点ハ〜1点イ	不明	不明		D		不明		
4	男	水遊び	G	12	1点ニ〜2点ニ	1点ト〜1点口	3度		B2	4度	!	!	
5	男	どんぐりころころ	C	8	1点ハ〜2点ハ	1点ハ〜1点イ	3度		B3	4度	!	!	
6	男	雪のペンキ屋さん	F	12	1点ハ〜2点ニ	1点ホ〜1点イ	4度		B3	4度	!		
7	男	ひなまつり	c	16	1点ハ〜2点ニ	1点ト〜2点ハ	4度		B1	5度	!		

2. 結果

表1は、曲の概要と、個々の歌唱に見られた音程についての傾向と、全体的な特徴を分類したものである。表2、表3は、傾向と特徴のそれぞれの内容と集計である。

表2: 音程に関する傾向の内容

傾向	男	女
正確 (ピアノ伴奏の旋律に音程が合っている)		
A 不安定な音程が3音以下	1	2
B1 歌いだしは音程が上がり気味で後半も上がり気味	4	0
B2 歌いだしは音程が上がり気味で後半は下がり気味	3	2
B3 歌いだしは音程が下がり気味で後半も下がり気味	11	5
B4 歌いだしは音程が下がり気味で後半は上がり気味	0	0
B5 場所を特定せず音程が上がったり下がったりする	2	0
不安定 (ピアノ伴奏の旋律に音程が合わない)		
C 音程は上がり下がりするが不安定	0	1
D 音程の上がり下がりはない (どなり声に近い)	1	0

表3: 音程に関する特徴の内容

特徴	男	女
一 旋律が順次進行の時の音程が正確	10	2
* 旋律が跳躍進行の時の音程が正確	1	1
! 強拍の音程が正確	4	2
〜 旋律に平行した音程の動きが見られる	3	2
/ フレーズ末尾の音程が不安定	7	2

* 表1の見方

- 調性の欄の大文字は長調、小文字は短調を表す。
- 冒頭と終止の欄にあるa は、歌い出しと終止の音程が正確であった事を示し、不安定であった場合は記入していない。
- 音程差とは1 - dの視聴、採譜の方法に従って得た音程の最大値を示している。耳で聞いた範囲で半音以下と思われる微妙なずれは割愛した。
- 音程差と声域幅の不明とした項目は、いわゆる応援団調で判定の意味がないと判断したものである。

子供の歌っている旋律と、伴奏の旋律を五線上に比較して表してみると例1、例2のようになる。

例1 音程が下がる傾向 男子 曲名：気のいいあひる

♪ = ピアノ伴奏の旋律
 ♪ = 子供が歌っている旋律
 表示のない部分は、ピアノ伴奏にほぼ一致している。

冒頭からはほぼ三度下のオブリガート風に歌いだし、前半8小節は旋律線に平行した音程の動きが見られる。後半9小節目と11小節目の冒頭の音程は正しいが、すぐに三度下のオブリガート風になり、15小節目後半から終結部の旋律は正しく歌えている。

声域は1点嬰二～1点変口と考えられる。

例2 音程が上がる傾向 男子 曲名：おしゃれなあひる

♪ = ピアノ伴奏の旋律
 ♪ = 子供が歌っている旋律
 表示のない部分は、ピアノ伴奏にほぼ一致している。

冒頭4小節は三度上のオブリガート風で、第5小節目からはやや上がる傾向が見られるものの、その差は少なく楽譜上の旋律に近づき、第7小節目からはほぼ正しく歌えている。

声域は1点二～2点ハと考えられる。

3. まとめと考察

表1に見られるとおり、推定声域が1オクターブ以上の子供は3名で、残り29名の内、推定声域が5度以下の子供は20名であり、個人によってその位置が高音部に片寄ったり、低音部に片寄ったりしている。それに対して、曲の音域が1オクターブ以上のものは27曲あり、調性と選曲に再考の余地があると思われる。

たとえば、例1の「気のいいあひる」は、へ長調を二長調に移調して歌うほうが負担が少ないと思われる。選曲については、声域の幅を考慮するだけではなく、表3で見られるとおり、旋律が順次進行の時や、跳躍進行の時でもインパクトの強い歌詞の時は(やっこ、やっこ、しっかり、しっかり等)音程が正確であった事を参考にする事ができる。

また、全曲にピアノの前奏が付けられているのにもかかわらず、冒頭(歌いだし)の音程が正確だった子供は10名であった。例2の「おしゃれなあひる」は音域と声域が一致しているので、冒頭の音程が不安定だったことが惜しまれる。曲の進行に従って、次第に音程が正確になってくるので、保育者が、許される程度に前奏部分を長く演奏して、聞く時間を増やしたり、前奏部分をハミング唱するなどの解決方法が考えられる。豊中市の私立O園では「森の熊さん」の冒頭の音程をそろえる為に、後半部分の「ラララ…」を先に歌ったり、ハミング唱するなどの方法を用いて一定の成果を上げた例がある。

フレーズの末尾の音程が不安定になる問題については、子供の息の長さを考慮したり、音楽的まとまりを意識することなどで、少し改善されるのではないかとと思われる。

以上、音程を中心に配慮できる事を考えてみた。これからも幼児の歌唱の分析を続け、教育的なアプローチを考えていきたいと思う。

参考文献

武岡真知子 1986年「幼児の声帯発達について」
 日本保育学会第39回大会研究論文集

謝辞

本研究に対して、浪速短期大学の倉戸直実教授に貴重な助言と、資料の提供を頂いた。